



高齢者の「制度」を「納得」に変える、一番身近な支援

By ethos / 2026年3月31日

先日、父のもとに、带状疱疹ワクチンの利用券が届きました。行政からの通知は、一枚のはがきに必要な情報が集約されており、非常に効率的で洗練されたレイアウトだと感じます。

しかし、制度として正確であればあるほど、高齢の当事者がその内容を短時間で正しく理解するのは、想像以上にハードルが高いという現実もあります。

最適な「解」を見つける

「生ワクチン」と「不活化ワクチン」、効果の差はどこにあるのか。副反応はどうなのか。そして、高齢の体に2回接種する負担ほどの程度なのか。

带状疱疹ワクチン比較表	
あなたに合わせた選択を	
【1】生ワクチン (1回接種)	【2】不活化ワクチン (2回接種)
📌 1回で完了	📌 2回受ける必要あり (2ヶ月後)
😊 副反応：はれ、痛みなど (一過性)	😞 副反応：はれ、痛み、だるさなどが出やすい
🛡️ 予防効果：約50%~60% (発症を抑える)	🛡️ 予防効果：約90%以上 (高い効果が続く)
💰 費用：約2,700円 (市助成後)	💰 費用：約7,000円 (市助成後)
★手軽さ・負担の少なさを優先	★高い予防効果を優先

行政のホームページを参考に作成

行政書士として高齢者支援を掲げていながら、いざ自分の親のこととなると、最適な「解」を見つけるのは案外難しいものだと実感しました。検討の末、私たちが選んだのは「生ワクチン」でした。高い予防率を追求するよりも、体への負担の少なさと、1回で済む手軽さを優先したのです。

「万が一の時にひどくならないための、2,700円のお守り」

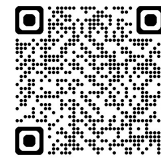
そう伝えると、父も心から納得した様子でした。

行政書士としてできること

制度の枠組みを正確に伝えるだけでなく、その方の「今」の生活や体調にどう寄り添うか。

今回の経験は、これからの高齢者支援の仕事にも通ずる、大切な視点を再確認させてくれる出来事となりました。行政が用意してくれた制度という「器」に、私たち専門家が「納得」という中身を注ぐ。

それこそが、行政書士としてできる地域への恩返しではないかと考えています。



この記事はブログからの転載です。QRコードをスマートフォンで読み取ると簡単にアクセスできます。

<https://ethos-trust.com/blog/>



Ethos Legal Office

あなたの人生の大切な場面を支える「柱」になります

行政書士イトス法務事務所

代表 行政書士 伊藤 洋一

〒254-0821 平塚市黒部丘 17-35

直通電話：0463-32-7257

メール：itoh@ethos-trust.com